



寒さも和らぎつつ、春の気配が感じられるようになりました。3月5日は、暦の上で啓蟄です。冬から春に気候が変化する時期、冬ごもりしていた虫たちが一斉に土の外に這い出してくるといわれています。この3月で、はと組さんは保育園を巣立っていきます……。そしてもも組さんはじめ、他のクラスの子ども達は1つ上のクラスになることを、ドキドキ、ワクワクの気持ちで待っています。4月からの1年間、ご協力いただきありがとうございました。就学、進級を目の前にして何かと忙しいですが、生活習慣を見直し新学期に向けて生活リズムをつけていきましょう。

3月3日は「耳の日」・・・「聞く」と言葉の発達

小さい子どもの場合、両耳の難聴が長引くと、言葉の発達に影響がでることがあります。大人が話す言葉を聞いて、言葉をまねして覚えていくためです。

まだ大人のように流暢に言葉が話せないうちでも、言葉を覚えるという意味では、赤ちゃん言葉ではなくきれいな言葉づかいで話しかけたほうが良いですね。

お子さんの、こんな気になることはありませんか？

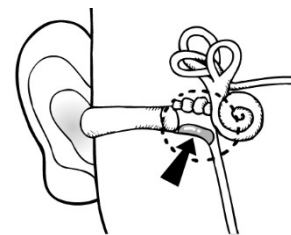
- 大きな音に驚かない
- 呼びかけても返事がなかったり、反応が鈍い
- 何度も聞き返す
- テレビの音を大きくする
- やたらと大きい声で話す（小さい声で話せない）
- 極端に細い声で話す



耳が聞こえにくいサインかもしれません。

☆浸出性中耳炎

鼓膜の奥の、中耳腔というところに液体が貯まる中耳炎です。通常、中耳炎は激しい痛みを伴うのですが、滲出性中耳炎では熱や痛みがないことが多いです。耳が詰まったように聞こえにくくなります。



☆耳垢栓塞

耳垢が詰まってしまっている状態。以外にも、耳そうじを頻繁にする子ほどなりやすいです。耳の穴が狭いうちは耳掃除が難しく、子ども用の綿棒を使っても耳垢を逆に奥へ押し込んで固めてしまうことがあります。定期的に耳鼻科で耳掃除をしてもらう子もいます。



☆外耳道異物

子どもはおもちゃの小さなパーツや、豆、小石などを耳に入れてしまうことがあります。

このような異物で聞こえにくくなることも。

耳の中を傷つける恐れがあるので、無理にとろうとせず、耳鼻科で取り除いてもらいましょう。

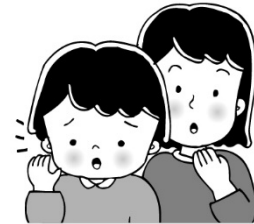


☆難聴

難聴については新生児スクリーニングもすすめられていますが、進行性の病気がある場合など、後から難聴が見つかることも。

子どもの聴力を守るには早期発見、早期治療が大切です。

ご家庭でも気になるところがあれば受診をお勧めします。



3月保健行事

4日（金）身体測定（2～5才児）

8日（月）身体測定（0,1才児）

25日（金）0才児健診



※3月の地域行事、健診、ベビーマッサージについては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とさせていただきます